



平成25年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月12日

上場会社名 株式会社プラップジャパン 上場取引所 大
 コード番号 2449 URL <http://www.prap.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)杉田 敏
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長 (氏名)泉 隆 TEL (03)4580-9111
 四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日 配当支払開始予定日 平成一年一月一日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第2四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第2四半期	2,275	7.3	249	36.1	259	39.2	145	97.8
24年8月期第2四半期	2,121	△1.1	183	△29.5	186	△29.6	73	△35.4

(注) 包括利益 25年8月期第2四半期 209百万円(122.2%) 24年8月期第2四半期 94百万円(△33.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年8月期第2四半期	36	30	—	—
24年8月期第2四半期	18	35	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
25年8月期第2四半期	3,843		2,454		62.0	
24年8月期	3,639		2,343		63.1	

(参考) 自己資本 25年8月期第2四半期 2,382百万円 24年8月期 2,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
24年8月期	—	—	0	00	—	—	25	00	25	00
25年8月期	—	—	0	00						
25年8月期(予想)					—	—	25	00	25	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	4,404	(3.5)	521	(16.5)	516	(15.4)	272	(27.3)	68	23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料5ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料5ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年8月期2Q	4,679,010株	24年8月期	4,679,010株
② 期末自己株式数	25年8月期2Q	682,696株	24年8月期	682,619株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年8月期2Q	3,996,381株	24年8月期2Q	3,996,430株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

平成25年4月19日(金) 機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、欧州債務危機の余韻のほか尖閣諸島問題における日中関係の悪化など冷え込んだ景況感と、東アジア各国のリーダーが変わるなど政治的な転換期を迎えることを背景とした変化への期待感の中での滑り出しとなりました。そうした中で米国経済がゆるやかに回復基調となったことや国内の政権交代に伴うデフレ脱却に向けた景気回復への期待感の高まりから、株式市場の活性化、円安傾向など市場成長に向けた動きが顕在化しました。

PR業界におきましては、景況感の高まりが一部のセクターにおいては出始めていますが、業界全体としましては、依然、企業の広報予算の圧縮に伴う受注・価格競争の激化は続き、厳しい環境下での取り組みを求められています。当社でも、企業の契約更新期に伴う受注単価の下落傾向や大型コンサルティング案件の減少など、ここ数年続く、厳しい傾向を脱し切れていません。その一方、新規問い合わせや引き合い、リテナー契約、既存顧客のプロジェクト契約など件数ベースでは拡大の傾向も見られ、特に注目度の高いヘルスケア、IT分野などで、堅調にプロジェクトを受注しました。

また、連結子会社における業績が好調に推移し、特に中国2社は、尖閣諸島問題に伴う業務受注に若干の影響はあったものの、ソーシャルメディアPRサービス分野でリテナー契約を獲得するほか、自動車、電機分野でのプロジェクト業務を多数獲得し、売上を伸ばしました。

昨年12月にはウィタンアソシエイト株式会社を連結子会社化し、当第2四半期連結会計期間より連結業績へ含めております。同社は主に欧州関連団体の日本国内における広報・PR業務に強みを有し、そこで培った幅広いネットワークや実績はグループ内のPR業務を補完するだけでなく、更なるサービス領域の拡大につながる見込みです。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,275百万円(前年同四半期比7.3%増)、営業利益は249百万円(前年同四半期比36.1%増)、経常利益は259百万円(前年同四半期比39.2%増)、四半期純利益は145百万円(前年同四半期比97.8%増)となりました。

部門別の概況は次の通りです。

[コミュニケーションサービス部門]

コミュニケーションサービス部門におきましては、当第2四半期連結累計期間は、新規レギュラークライアントとして、アパレル、飲料、自動車、金融、IT、電機などの企業を獲得しました。また、新規および既存顧客のプロジェクト業務として金融、不動産、消費財メーカー、食品、飲料、小売、自動車、ヘルスケア、IT、などの企業を多数獲得しました。

この結果、コミュニケーションサービス部門の売上高は2,132百万円(前年同四半期比7.5%増)となりました。

[クリエイティブサービス部門]

クリエイティブサービス部門におきましては、当第2四半期連結累計期間は、主に金融、製薬、食品、研究所、自動車関連のイベントを受注しました。また、印刷物関連の業務におきましては、医療関係、ヘルスケア関連会社、コンサルティング会社のPR誌を受注しています。

この結果、クリエイティブサービス部門の売上高は、143百万円(前年同四半期比3.4%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における主な勘定科目等の増減の状況は次のとおりです。

(売上高)

当第2四半期連結累計期間において売上高は2,275百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ154百万円(7.3%)の増収となりました。

これは、当社単体の売上高は7百万円(△0.5%)の減収となったものの、既存の連結子会社4社の業績が好調だったことにより増収となったことに加え、当第2四半期連結会計期間より連結子会社化されたウィタンアソシエイト株式会社の売上高が貢献したことによるものです。

(営業利益)

営業利益は、249百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ66百万円(36.1%)の増益となりました。これは、売上高が前年同四半期連結累計期間より154百万円(7.3%)の増収となったことに加え、販売費及び一般管理費が前年同四半期連結累計期間に比べ18百万円(△4.6%)減少したことによるものです。

(経常利益)

経常利益は、259百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ73百万円(39.2%)の増益となりました。営業利益が66百万円(36.1%)の増益となったことに加え、当第2四半期連結累計期間に円安の影響による為替差益が7百万円増加したことによるものです。

(四半期純利益)

四半期純利益は、145百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ71百万円(97.8%)の増益となりました。これは、経常利益が73百万円(39.2%)の増益となったことに加え、前年同四半期連結累計期間に計上された特別損失の本社移転に伴う事務所移転費用13百万円が当第2四半期連結累計期間では計上されなかったことによるものです。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の変動状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、2,990百万円と前連結会計年度末に比べ175百万円の増収となりました。これは、現金及び預金89百万円、受取手形及び売掛金35百万円、たな卸資産43百万円増加したことが主な要因であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、853百万円と前連結会計年度末に比べ29百万円の増加となりました。これは、長期性預金17百万円、繰延税金資産16百万円が減少したものの、投資有価証券が46百万円増加したことが主な要因であります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、881百万円と前連結会計年度末に比べ41百万円の増加となりました。これは、未払法人税等が37百万円、賞与引当金24百万円、未払配当金23百万円が減少したものの、支払手形及び買掛金77百万円、1年内返済予定の長期借入金59百万円が増加したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、507百万円と前連結会計年度末に比べ51百万円の増加となりました。これは、主に長期借入金45百万円、退職給付引当金及び役員退職慰労引当金6百万円の増加によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、2,454百万円と前連結会計年度末に比べ110百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が45百万円増加したのに加え、その他有価証券評価差額金32百万円、少数株主持分25百万円が増加したことが主な要因であります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、法人税等の支払額141百万円、配当金の支払額91百万円等の要因により減少したものの、税金等調整前四半期純利益259百万円、仕入債務の増加額42百万円等の要因により、前第2四半期連結会計期間末に比べ370百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末は1,727百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、172百万円(前年同四半期は得られた資金184百万円)となりました。これは、主に法人税等の支払額141百万円、賞与引当金の減少額24百万円が生じたものの、税金等調整前四半期純利益259百万円、売上債権の減少額37百万円、仕入債務の増加額42百万円が計上されたことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は、主に定期預金の預入による支出が8百万円生じたものの、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入17百万円が生じたことにより、7百万円(前年同四半期は使用した資金178百万円)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動に使用した資金は、主に長期借入金の返済による支出11百万円、配当金の支払額91百万円、少数株主に対する配当金の支払額31百万円により、134百万円(前年同四半期は使用した資金121百万円)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年8月期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績は、概ね計画通りに推移しております。現時点において平成24年10月12日に公表した「平成24年8月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

なお、予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

【特有の会計処理】

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年9月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却費の方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,923	2,013
受取手形及び売掛金	659	694
有価証券	17	20
たな卸資産	92	136
繰延税金資産	94	94
その他	28	31
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	2,815	2,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	81	76
車両運搬具(純額)	2	2
その他(純額)	18	18
有形固定資産合計	102	96
無形固定資産		
借地権	0	0
ソフトウェア	12	11
のれん	14	38
無形固定資産合計	27	50
投資その他の資産		
投資有価証券	163	210
差入保証金	267	266
繰延税金資産	191	175
その他	71	53
投資その他の資産合計	694	706
固定資産合計	824	853
資産合計	3,639	3,843
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	197	275
1年内返済予定の長期借入金	—	59
未払法人税等	139	101
未成業務受入金	133	132
賞与引当金	78	53
その他	290	259
流動負債合計	839	881
固定負債		
長期借入金	—	45
退職給付引当金	132	133
役員退職慰労引当金	321	327
その他	1	1
固定負債合計	455	507
負債合計	1,295	1,388

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	470	470
資本剰余金	374	374
利益剰余金	1,937	1,982
自己株式	△434	△434
株主資本合計	2,348	2,393
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△41	△9
為替換算調整勘定	△10	△1
その他の包括利益累計額合計	△51	△11
少数株主持分	47	72
純資産合計	2,343	2,454
負債純資産合計	3,639	3,843

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
売上高	2,121	2,275
売上原価	1,534	1,640
売上総利益	586	634
販売費及び一般管理費	403	385
営業利益	183	249
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	1
為替差益	0	8
その他	1	1
営業外収益合計	4	11
営業外費用		
支払利息	—	0
出資金運用損	0	0
営業外費用合計	0	1
経常利益	186	259
特別損失		
有形固定資産除却損	2	0
事務所移転費用	13	—
特別損失合計	15	0
税金等調整前四半期純利益	170	259
法人税、住民税及び事業税	81	95
法人税等合計	81	95
少数株主損益調整前四半期純利益	89	163
少数株主利益	16	18
四半期純利益	73	145

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	89	163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	32
為替換算調整勘定	△0	14
その他の包括利益合計	5	46
四半期包括利益	94	209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78	185
少数株主に係る四半期包括利益	15	24

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	170	259
減価償却費	33	11
のれん償却額	5	6
退職給付引当金の増減額(△は減少)	0	0
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	6
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	△24
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	0
事務所移転費用引当金の増減額(△は減少)	△63	—
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	—	0
固定資産除却損	2	0
売上債権の増減額(△は増加)	△12	37
たな卸資産の増減額(△は増加)	△30	△7
仕入債務の増減額(△は減少)	△47	42
その他	173	△19
小計	233	312
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	—	△0
法人税等の支払額	△49	△141
営業活動によるキャッシュ・フロー	184	172
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△27	△8
定期預金の払戻による収入	20	—
有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の取得による支出	△50	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	17
敷金及び保証金の差入による支出	△14	—
敷金及び保証金の回収による収入	0	0
有形固定資産の取得による支出	△102	△2
無形固定資産の取得による支出	△4	△1
貸付金の回収による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178	7
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△11
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△91	△91
少数株主への配当金の支払額	△29	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△121	△134
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△115	59
現金及び現金同等物の期首残高	1,472	1,667
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,356	1,727

(4) 継続企業的前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年2月29日)

当社グループは、企業の広報活動の支援・コンサルティング業務を中心としたPR事業のみの単一セグメントであるため記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年2月28日)

当社グループは、企業の広報活動の支援・コンサルティング業務を中心としたPR事業のみの単一セグメントであるため記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。